

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● 甲状腺刺激ホルモン(TSH)/IFCC (依頼コード No.13573)

受託開始日 2021年4月1日(木) ご依頼分より

甲状腺刺激ホルモン(TSH)の測定値については以前より、測定試薬間の変動が大きいことが指摘されており、日本臨床検査医学会を中心として国際標準化に向けての議論が進められてきました。その結果、2020年1月30日に日本臨床検査医学会標準化委員会から「甲状腺刺激ホルモン(TSH)値のハーモナイゼーションについて」として、各試薬に補正係数を設定して国際臨床化学連合甲状腺機能検査標準化委員会(IFCC C-STFT)が示す検査値「IFCC基準適合検査値(Phase IV)」に準拠した値および基準範囲に合わせる方向性が示されました。これに伴い弊社では、上記ハーモナイゼーションで示されたIFCC準拠の検査値と日本人基準範囲を採用した検査項目を新設し、受託開始させていただきます。

【参考URL】(2021年2月12日閲覧)

日本臨床検査医学会「甲状腺刺激ホルモン(TSH)値のハーモナイゼーションについて」

2020年1月30日 : <https://www.jslm.org/committees/standard/20200130TSH.pdf>

2020年12月16日 : <https://www.jslm.org/committees/standard/20201216.pdf>

● 現行の甲状腺刺激ホルモン(TSH)/ECLIA(依頼コードNo.04892)についても、今までと同様に受託いたします。

裏面に続きます

受託要領

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
依頼コードNo.	13573	04892
検査項目名	TSH/ECL-IFCC	TSH/ECLIA
統一コード	4A056-0000-023-053	4A055-0000-023-053
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1～3	同左
検査方法	ECLIA法	同左
基準値	0.610～4.230	0.500～5.000
単位	μIU/mL	同左
報告範囲	0.005未満～最終値	同左
報告桁数	小数第3位	同左
検査実施料/判断料	104点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左
備考	【チャート報告】 甲状腺機能検査専用チャート報告の対象項目です。	同左